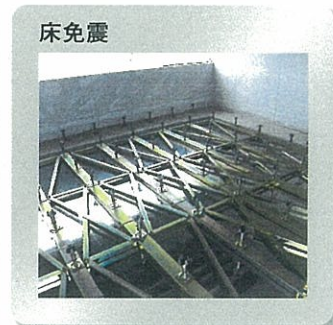


消防防災活動拠点としての機能向上を図り、市民と防災の梯としての役割を担う、市民に親しまれる庁舎

機能的に生まれ変わった消防庁舎

防災センター：子供から大人までが防災学習できる体験型学習施設。3階に配置。
車庫：2方向に出庫可能で、柱など障害物を極力無くしたフレキシブルな車庫。
指令課：119番通報を受ける消防局の中核となる部屋。3階に配置。
消防局事務室：指令課との連携が可能な3階に配置した事務室空間。
消防署事務室：2階に配置し、事務室直連の緊急階段で、防火衣着装室から車庫に出勤可能。
講堂：職員の研修や、防火管理者講習会などに使用。可動間仕切りにより1室～3室利用可能。
備蓄倉庫：非常時の食料・物資などを保管する。1階・2階に配置。
耐震性貯水槽：地下の躯体を利用して、100tの耐震性貯水槽を設置。
屋上緑化：庁舎棟屋上に約100㎡の屋上緑化を設置。
太陽光発電：庁舎棟屋上に10kWソーラーパネルを設置。
雨水利用：防災センター上部に降った雨水を貯留(約90t)して、トイレの便器洗浄水などに使用。また、断水時の飲料水確保(ポータブル濾過器使用)。
床免震：地震発生時に、重要な機器等の転倒・破損を未然に防ぐためのフロアシシステムで、指令課と通信機械室に導入。地震の揺れを1/10に軽減。



屋上 ソーラーパネル



屋上緑化



見学デッキ



3F 指令課



消防局事務室



局長室



2F 消防署事務室



見学デッキ



講堂



1F 受付



エントランス



トレーニングルーム



仮眠室



様々な訓練が可能な訓練棟

訓練スペースには主訓練棟(5階)、副訓練棟(2階)があり、全国消防救助技術大会の種目が全て実施できます。また、防災センター横を訓練スペースとして使用することで、見学デッキからは、より身近に訓練を見学することができます。



	敷地面積	15,993.63㎡		
	建築面積	延床面積	構造種別	規模
庁舎棟	2,487.83㎡	5,902.76㎡	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造	3階
主訓練棟	60.30㎡	239.75㎡	鉄筋コンクリート造	5階
副訓練棟	135.79㎡	221.90㎡	鉄筋コンクリート造	2階
駐輪場	33.88㎡	33.88㎡	鉄骨造	1階
合計	2,717.80㎡	6,398.29㎡		